Annual Report & Bulletin of
IBUSUKI Archaeological Museum
Vol.14

指宿市考古博物館
時遊館 COCCO はしむれ
令和元・２年度
博物館年報・紀要　第 14 号

2021 年 3 月

発行
指宿市教育委員会
鹿児島県指宿市十二町 2290 番地
TEL 0993-23-5100

印刷所
株式会社　指宿新生社印刷
鹿児島県指宿市東方 8068-3
TEL 0993-24-2002

指宿市考古博物館 IBUSUKI ARCHAEOLOGICAL MUSEUM
時遊館 CoCCo はしむれ

令和元・２年度
博物館年報・紀要
第 14 号

指宿市教育委員会
２０２１年3月

序　文

このたび、指宿市考古博物館　時遊館 COCCO はしむれ年報・紀要第 14 号を刊行いたします。

本号年報編では令和元・２年度の当館の活動記録をまとめています。

元号が平成から令和に変わった昨年度は、当館でも新しい取り組みとして月間特別体験や月一イベントなど多くの行事などを開催し、市民の方々に本市の魅力や文化、歴史をお伝えできるように努めてまいりました。

令和２年度にも多くの取り組みを行おうとしていた矢先、新型コロナウイルス感染症が全国で猛威を振るい、その影響により当館も一時的に臨時休館せざるを負えない状況になりました。しかしながら、地域の方々に文化や歴史を伝えなければならないと考え、感染症拡大防止策を十分に行い、様々な体験イベント等を開催いたしました。これもひとえに当館の活動にご理解していただき、見守ってくださる市民の皆様のご協力があってのことであると深く感謝しております。

紀要編では、太平洋戦争期における戦争遺跡に関する研究を当館学芸員が投稿しております。令和２年度は太平洋戦争後 75 年となりますが、実際に戦争を経験された方々はご高齢となり、語り継がれる機会が少なくなってきております。残されたモノから当時の状況を紐解き、後世の人々に伝えるのは、現在に生きる我々の役割でもあります。

当館としましては、今後も本市の文化財の調査研究を行い、その情報を発信することで、市民の方々に地域の文化や歴史の魅力をご理解いただくとともに、学習機会を拡充してまいりたいと考えております。

令和３年３月

指宿市考古博物館
時遊館ＣＯＣＣＯはしむれ
館長　吉元　鈴代

目　次

事業報告編

令和元年度各事業の実施状況

１．博物館事業の部…… 1
２．後援・共催・協賛事業及び施設利用の部…… 8
３．発掘調査・整理作業の部…… 9
４．文化財保護管理の部…… 9
５．刊行物・研究活動の部…… 10

令和２年度各事業の実施状況

１．博物館事業の部…… 11
２．後援・共催・協賛事業及び施設利用の部…… 17
３．発掘調査・整理作業の部…… 18
４．文化財保護管理の部…… 18
５．刊行物・研究活動の部…… 19

紀要編

令和２年に実施した戦跡（空襲遺構）調査について
中摩　浩太郎…… 20
田良岬で採集された太平洋戦争期の航空機片について
新垣　　匠 …… 27

令和元年度各事業の実施状況

令和元年度に実施した主な事業は、次のとおりである。以下、その概要を記す。

1　博物館事業の部

（1）企画展・体験学習・講座等

①南薩４市合同企画展「黄金の郷　南薩－日本列島最後の金山－」
（4月 13 日～6月２日　来場者 5,618 人）

南薩地域は、数百万年前の火山の恩恵を受けた金銀鉱物資源の宝庫である。かつては金山等の作業に携わる多くの人々や、内外からの往来によって、地域が大いに栄えた時期があった。しかし、時代の流れにより、全国的にこのような地域の産業は衰退した。そのような中にあって、南九州の地においては、今日でも鉱山開発が小規模ながらも継続され、資源の少ないわが国の産業の一躍を担っている。特に、国内では最後あるいは唯一、金山の採掘が行われている地域となっている。

このように豊かな資源を保有し、自然・歴史・文化が共通する南薩４市が一体となって、「金山」をテーマとした県内でも初の合同企画展を開催することで、南薩の地に誇りと愛着をもっていただくことを目的とした。

②ゴールデンウィークイベント「はしむれこどもフェスティバル」
（4月 29 日～5月７日　体験者 3,179 人）

ゴールデンウィークのイベントとしてテーマを「古代体験」として設定し、常設展示室の展示品をモデルとしたミニチュア土器を土から発掘する「ミニ土器発掘体験」や、国指定史跡橋牟礼川遺跡公園と博物館を活用した「はしむれクイズに挑戦！古代トレジャーハント」、開催中であった合同企画展「黄金の郷　南薩」の関連イベントとして「砂金採り体験」、竹製の弓で的を射る「縄文弓矢体験」、古代の道具を使った「火起こし体験」を実施した。その他、外部団体と連携した「鉄道模型Ｎゲージ体験」や「ミニ四駆レース」、「プラレール遊び」等の各種体験学習、けん玉・ビー玉・おはじき・あやとり・めんこ・竹とんぼ等の昔の遊び体験を実施した。

③夏のミニ企画展「いぶすきシェルコレ 2019 人魚姫伝説」
（7月１日～8月 27 日　来場者：2,199 人）※観覧無料

夏季休業期間に、指宿市在住の貝研究者 中島耕作氏（元日本貝類学会会員・元九州海類談話会会員、橋牟礼川遺跡総括報告書貝資料同定指導者）所蔵の国内外で採集された貝の展示を行った。令和元年度は、貝の種類や生息域だけでなく、伝説の妖怪：人魚についても紹介した。そのほか、指宿市内の貝殻採集ポイントや、採集の方法、標本の作り方について解説した。観覧者の中には、採集した貝殻を持参して、標本を見ながら種類を調べる親子が多く見られた。

【関連イベント】
・「貝がらネックレス作り」（8 月 1 日～ 31 日　体験者 71 名）
・「貝がらコンパクト作り」（8 月 11 日　体験者 16 名）

④常設展関連イベント「ナイトミュージアム 2019 ～古代魔術で謎を解け～」
（8月６日・７日　参加者 24 人）

普段見ることのできない夜の博物館観覧体験を楽しんでいただくために実施した。当館職員が作成した古代文字を解くために、常設展示内に設置したクイズに答えるイベントを行った。参加者には敷領遺跡の発掘調査にちなんだ当館特製鉄製甲臺キーホルダーをプレゼントした。対象は小・中学生とし、初対面の児童たちと協力しながら問題を解く姿がみられた。

⑤ミニ企画展「大解明！今和泉島津家墓地 - 篤姫の父が眠る墓地の謎に迫る -」
（9月7日～10月27日　来場者：4,098人）※観覧無料

平成27～30年度にかけて実施した、今和泉島津家墓地の確認調査、墓石・燈籠・五輪塔等の測量調査、今和泉島津家関連文献調査等によって解明されてきた今和泉島津家墓地の実態を紹介した。

⑥企画展「海を見つめた古代人ーイブスキ人の起源ー」
(令和元年12月7日～令和2年3月15日　観覧料　大人200円、小人100円　来場者数：1,283人)

南薩地域では古代から「海」を介した人々の交流・物流を基盤としており、墓制にも「海」の影響を看取できる。この交流は旧石器時代から連綿と続いており、度重なる火山噴火の影響を受けながらも、南西諸島との交流や交易は続いていた。「海」は貴重な舶来品や外来品をもたらす存在である一方、その近くでは墓が営まれるなど「死」をつかさどる存在でもあった。母なる海をみつめて葬られた古代人を知ることは、私達の祖先を知ることに繋がり、それはまた私達自身を知る壮大な自分探しでもある。

この企画展では、指宿市を代表する成川遺跡や南摺ヶ浜遺跡に焦点をあて、初公開となる人骨資料や副葬品などを展示し、海とともに育まれた古代人の実態を紹介した。

■はしむれ日曜講座

市民を対象に指宿まるごと博物館構想推進の一環として、企画展に関連する講座を開催した。

回	開催日	講座名	内容	講師	聴講者数
1	12月15日	南薩の墓制からみるイブスキ人	墓制からみた指宿にいた古代人について紹介	松崎　大嗣（当館学芸員）	17
2	2月16日	指宿に到達した人類	指宿にいつ・どのように到達したのか紹介	松崎　大嗣（当館学芸員）	22

⑦ミニ企画展「篤姫のひなまつり展」（2月1日～3月15日）※観覧無料

市民から寄贈された雛壇飾りや土人形、色打掛等を展示した。

【関連イベント】

■羊毛フェルトのひな人形づくり体験（3月1日　参加者：5人）

⑧学びのふるさと講座（全5回、聴講者数166人）

自然・歴史・考古・産業など様々な分野の専門家を招き、講座を開催することで、市民が生涯を通じて学び、その学習成果をまちづくりに生かし、潤いと活力のある郷土の実現を図ること、そして「指宿まるごと博物館」の素材の活用、市民の文化財愛護精神の醸成を図ることを目的とした講座を全5回開催した。

令和元年度は南薩4市合同企画展「黄金の郷　南薩‐日本列島最後の金山‐」、夏のミニ企画展「シェルコレ2019 ～人魚姫伝説～」、ミニ企画展「大解明今和泉島津家墓地 ‐ 篤姫の父が眠る墓地の謎に迫る ‐」、企画展「海を見つめた古代人 ‐ イブスキ人の起源 ‐ 」に関連するテーマで講座を設けた。

回	開催日	テーマ	講師	聴講者数
1	5月11日	考古学からみた鹿児島の金山	新田 栄治 氏 鹿児島大学名誉教授	35
2	7月13日	本格！貝の標本作り	中島 耕作 氏 元九州貝類学会会員・元理科教諭	6
3	10月12日	今和泉島津家の新知見	丹羽 謙治 氏 鹿児島大学法文学部教授	54
4	12月21日	弥生時代の墓制	石田 智子 氏 鹿児島大学法文学部准教授	38
5	1月25日	成川遺跡の古代人骨	竹中 正巳 氏 鹿児島女子短期大学教授	33

⑨スター・ウォッチング（全２回、参加者計 151 人）

季節ごとに開催している星空観察会。令和元年度は当館所有及び外部講師の天体望遠鏡を用いて、夏と冬の星座とその動きを観察し、天体に興味・関心を持ってもらうことを目的とした。

回	開催日	テーマ	講師	参加者数
1	８月９日	夏の星座と月をみよう！	森永　成一 氏 （鹿児島市立谷山北中学校教諭）	109
2	２月８日	冬の星座をみよう！	森永　成一 氏 （鹿児島市立谷山北中学校教諭）	42

⑩はしむれジュニア学芸員養成講座

市内の児童・生徒に、様々な体験を通して学芸員の仕事を理解させると同時に、時遊館 COCCO はしむれの常設・特別展示室の案内および日本で初めて縄文土器と弥生土器の新旧関係を明らかにした国指定史跡指宿橋牟礼川遺跡の意義と重要性を理解させ、それらを説明できる人材を要請することを目的とした。令和元年度は小学５年生～中学２年生を対象に、「敷領遺跡発掘調査体験」、「宮之前遺跡踏査体験」、企画展の展示解説の練習を行い、実際に来館者案内に取り組んだ。講座終了後には、年間パスポートを兼ねた「はしむれジュニア学芸員カード」を発行した。

⑪月間特別体験・月一イベント

「月間特別体験」と「月一イベント」を企画し、親子で参加できるようなイベントを月毎に実施した。

月	月間特別体験タイトル	体験人数	定員
4月	ドリームキャッチャー作り	29	30
5月	鹿角ネックレス作り	19	30
6月	雨の日アクセサリー作り	32	30
7月	ミニプラネタリウム作り	31	30
8月①	貝殻ネックレス作り	71	30
8月②	風鈴アクセサリー作り	35	30
9月	古代模様のイヤリング作り	16	30
10月	どんぐりカブトムシのブローチ	30	30
11月	石粉粘土で化石みたいなアクセサリー作り	18	30
12月	針山ミニミニクリスマスツリー	31	30
1月	昔ながらの正月遊びコーナー	133	無料
2月	土器片(レプリカ)とビーズで古代風ミサンガ作り	16	30
3月	ポンポンフラワーで春のバッグチャーム作り	5	30
合計		466	

月	月一イベントタイトル	体験人数	定員
4月	箱カメラ作り	14	15
5月	貝がらストラップ作り	3	15
6月	紫陽花ヘアピン作り	13	20
7月	地層キャンドル作り	16	15
8月	貝がらコンパクト作り	19	20
9月	あんぎん編みの写真立て作り	9	15
10月	魔女のホウキえんぴつ作り	30	30
11月	毛糸で秋色お花のブローチ作り	12	20
12月	ナチュラルクリスマスリース作り	10	10
1月	羊毛フェルトのミニ手鞠アクセサリー作り	11	20
2月	宝石みたいな石けん作り	14	15
3月	フラワーボールのひな飾り作り	3	15
合計		154	

はしむれこどもフェスティバル（ミニ土器発掘体験）

南薩４市合同企画展　ギャラリートーク

月一イベント地層キャンドルづくり（７月）

ナイトミュージアム

学びのふるさと講座②「本格！貝の標本作り」

月一イベント「ナチュラルクリスマスリース作り」（12 月）

はしむれ日曜講座の様子

企画展ギャラリートーク

南薩４市合同企画展ポスター

はしむれこどもフェスティバルポスター

ミニ企画展「いぶすきシェルコレ 2019」ポスター

ナイトミュージアムチラシ

ミニ企画展「大解明！今和泉島津家墓所」ポスター

企画展「海をみつめた古代人」ポスター

（2）学習支援活動

来館者に対する学習支援のほか、博物館実習生や職場体験学習の受入れ、市内各小学校の総合的な学習の時間の支援を実施した。

①キャリア・スタート・ウィーク

市内の中学２年生を対象とした職場体験学習の受け入れを行った。期間は例年５月のうち５日間であり、受け入れ人数は南指宿中学校生徒５人である。体験内容として、常設展示室の解説案内を中心に、勾玉作り体験等の体験学習や、土器の洗浄、観察作業、文化財パトロールを行った。

②令和元年度小・中学校・一般団体博物館利用実績・出前授業実績（●：市内の学校・団体）

	月	日	学校・団体・個人名	人数	体験内容 （記載のない団体は見学のみ）	指宿大好き体験	社会科・地層見学	出前授業
1	4	1	宮崎県聴覚障碍者協会	18	オリビン万華鏡・オリビン採集	○		
2	4	2	個人（末吉様）	4	オリビン万華鏡	○		
3	4	3	南国交通バスガイド研修	2				
4	4	16	徳光小学校６年生●	13			○	
5	4	19	柳田小学校６年生●	66			○	
6	4	25	川尻小学校６年生●	10			○	
7	5	8	指宿小学校６年生●	56			○	
8	5	9	魚見小学校６年生●	18			○	
9	5	11	丹波小学校６年生●	120	火おこし		○	
10	5	11	前原子ども会	24	キーホルダー			○
11	5	18	濱田酒造	240				
12	5	21	池田小学校６年生●	13	砂金取り		○	
13	5	22	志布志市立野神小学校	18				
14	5	24	東急グループ新和会運輸車両部会	25				
15	5	25	九州文化財研究所	23				
16	5	29	中種子町立三校合同	14				
17	5	30	内之浦小学校	10				
18	5	31	鹿児島市立南小学校	66				
19	6	7	丹波小学校２年生●町たんけん	28			○	
20	6	13	奄美市立朝日小学校	94				
21	6	25	山田地区自公連	14				
22	6	29	鹿児島国際大学	11				
23	7	26	十島村女性連	7				
24	7	26	聖亜幼稚園●	8	オリビン採集　※体験のみ			
25	7	28	下吹越地区 PTA	31	絵付け体験			○
26	7	30	枕崎妙見児童クラブ	59	消しゴム勾玉　※体験のみ			
27	7	30	光明禅寺保育園学童●	20	絵付け体験　※体験のみ			
28	7	31	人吉交換交流会	84	オリビン万華鏡			
29	8	1	大成児童クラブ●	28	消しゴム勾玉			
30	8	3	大成小学校２年い組●	28	キーホルダー　※体験のみ			
31	8	3	千歳交換交流会	32	オリビン万華鏡			
32	8	6	鹿児島別院子ども会	41	アンギン編み・消しゴム勾玉・オリビン万華鏡			
33	8	26	今和泉校区公民館●	40	オリビン万華鏡			○
34	8	29	知覧児童クラブ	26	オリビン万華鏡・キーホルダー			
35	8	30	鹿児島県曽於郡大崎町　菱田保育園	16				
36	8	31	今和泉小学校レクリエーション●	28	オリビン万華鏡			
37	9	12	佐賀県伊万里市立伊万里中学校	21	石勾玉・オリビン万華鏡	○		
38	9	13	島根県河東中学校	67	石勾玉・オリビン万華鏡	○		

39	9	14	魚見小学校６年生●理科の授業	17			○	
40	9	18	ＪＲ九州福岡地区旅行代理店	10				
41	9	18	鹿児島国際大学	12	石勾玉			
42	9	19	嬉野市立嬉野中学校	32	オリビン万華鏡	○		
43	9	20	鹿児島市　希望の園	55	消しゴム勾玉			
44	9	27	開聞小学校●	24				
45	10	9	佐賀県武雄市立武雄中学校３年生	23	石勾玉	○		
46	10	10	利永小学校６年生●	2	※火山と地層について		○	
47	10	24	鹿児島市立和田小学校５年生	152				
48	10	24	総合支援センターわかば	4	キーホルダー　※体験のみ			
49	10	31	都城市五十市小学校	112				
50	11	7	都城市立川東小学校	64				
51	11	15	宮崎県小林市立小林小学校	97				
52	11	27	鹿児島市小野中大聖会	14	キーホルダー			
53	12	8	大清観光バス	18				
54	12	11	魚見小学校３年生●昔の道具	20			○	
55	12	13	砂楽●	25	石勾玉			
56	1	8	若葉支援センター	7	※月間特別体験のみ			
57	1	22	利永スマイルサロン●	28	あんぎん編み			
58	1	23	指宿小学校●昔の道具	50			○	
59	1	23	福岡有限会社かたらんね	14	※寺古代の鹿児島ツアー			
60	1	24	池田小学校●昔の道具	16			○	
61	2	5	柳田小学校３年生●昔の道具	68			○	
62	2	12	川尻小学校３年生●昔の道具	10			○	
63	2	26	サッカーＵ 16	23	※石勾玉のみ			
64	2	27	サッカーＵ 16 東ティモール・ラオス	46	石勾玉			
65	2	27	夢あこがれ	13	消しゴム勾玉			
66	2	27	騎射場会	6	※オリビン採集のみ			
67	2	28	サッカーＵ 19 マレーシア・カンボジア	47	石勾玉			
68	3	10	支援センターわかば	6	※石勾玉・万華鏡のみ			
69	3	31	南国交通バスガイド研修	6				
合計				2444	件数合計	6	15	3

キャリアスタートウィーク　発掘調査体験

キャリアスタートウィーク　展示解説

柳田小学校地形の成り立ち　解説の様子

2　後援・共催・協賛事業及び施設利用の部

（1）指宿まるごと博物館実行委員会への活動支援

平成 29 年度から令和２年度（平成 30 年度は休止）の３か年継続事業として、文化庁の「地域文化財総合活用推進事業」を活用し、令和元年度は市内の郷土芸能をまとめた冊子「指宿文化遺産手帖～郷土芸能編～」を出版した。

（2）時遊館 COCCO はしむれ友の会支援活動

時遊館COCCOはしむれ友の会は、指宿市考古博物館　時遊館COCCOはしむれを中心としたさまざまな学習活動、ボランティア活動を通じ、指宿市の歴史と文化を学び、会員の自己研鑽を行うこと、同時に地域における歴史・文化学習のネットワークを形成し、会員相互の交流を深めることを目的とする会であり、会員数は現在約 90 人である。令和元年度は下記の活動支援を行った。

■はしむれ友の会秋の遠足「肥後いにしえの古墳巡り！」（10 月５・６日）

■はしむれ友の会春の研修旅行「成川遠足」（１月 18 日）

（3）市民講座「まちの宝を知ってみよう」

市の生涯学習事業である市民講座への講師協力。５月～ 12 月の第３火曜日開催、全９回

回	期日	分野	講師	テーマ
第１回	5 月 21 日	火山・産業	鎌田　洋昭	火山の恵みを利用した指宿の産業
第２回	6 月 18 日	歴史	松﨑　大嗣	開聞岳噴火からみた古代日本の災害
第３回	7 月 16 日	歴史・産業	中摩　浩太郎	指宿カオリンの発見と窯業
第４回	8 月 20 日	考古学	新垣　匠	南島と南九州の縄文時代早期について
第５回	9 月 17 日	文化	新垣　匠	南西諸島と山川における石敢当の関係性
第６回	10 月 15 日	歴史	中摩　浩太郎	大解明！今和泉島津家墓地―篤姫の父が眠る墓地の謎に迫る―
第７回	10 月 27 日	全体	鎌田　洋昭	フィールドワーク
第８回	11 月 19 日	自然	鎌田　洋昭	ウミガメと指宿の希少生物について
第９回	12 月 17 日	人類学	松﨑　大嗣	人骨からみたイブスキ人の起源

（4）展示会の開催

①第 30 回いぶすきシルバー美術展（８月４日～８月 16 日　入場者 1,358 人）

県内の 60 歳以上の方々なら誰でも応募資格をもつ、ユニークな絵画の公募展。今回は 176 点を越える作品が集まり、最高齢出展者は 99 歳であった。指宿市・指宿市教育委員会・指宿市文化協会による開催。

②学校教育課主催「社会科作品展」（９月 14 日～９月 28 日）

市教育委員会学校教育課主催の、市内の児童・生徒が夏季休業期間に作成した自由研究や図画作品の受賞作を展示する展示会。

③「現代水墨画２人展」（１月 15 日～ 19 日）

本市出身の大野節子氏らによる絵画作品等の展示会。

（5）いぶすき検定の実施協力

指宿商工会議所が実施している小学校５・６年生と中学校１・２年生を対象とした「いぶすきジュニア検定」と、「いぶすき検定」の初級・中級・上級の問題作成を行うとともに、直前講習会の講師を務めた。

（6）いぶすき大好き体験協議会事務局への協力

いぶすき大好き体験事務局では、世界でもめずらしい天然砂むしの体験をはじめ、いぶすき広域ならではの自然資源・人的資源を最大限に活かした農林業体験や漁業体験、自然体験、味覚体験など魅力的なプログラムを準備している。修学旅行シーズンにおいて、博物館で実施している「オリビン万華鏡体験」を館で行うなどの協力を行った。令和元年度は６校の利用があった。

３. 発掘調査・整理作業の部

（1）市内遺跡確認調査

開発対応に伴う遺跡の確認調査を、下記のとおり実施した。

（2）橋牟礼川遺跡報告書作成

遺跡名	所在地	調査期間	面積	調査原因	主な遺構	主な遺物	備考
敷領遺跡	十町	1月16日～1月17日	90㎡	確認調査	畝跡	―	
		10月23日～10月28日	30㎡	特別養護老人ホームの増築	溝状遺構	成川式土器	
		10月29日～10月30日	8㎡	個人住宅の建設	―	成川式土器	

橋牟礼川遺跡西部土地区画整理事業に伴う発掘調査の整理作業を実施した。令和元年度はⅣ区の遺構・遺物の図面作成等を行い、令和２年度に報告書を刊行する。

４　文化財保護管理の部

（1）文化財防火デー

①市指定有形文化財成川板碑･成川十一面観音座像及び石殿：令和２年１月30日（大雨により中止）
②枚聞神社：令和２年１月26日

地域住民、自衛消防隊、消防団や消防署等関係機関が参加し、枚聞神社社務所から出火し、宝物殿及び拝殿棟への延焼の恐れがあるとの想定で防火訓練を実施し、文化財保護活動の大切さについて理解・協力を求めた。

（2）指定文化財等の保護

■文化財パトロール

市内指定文化財や周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の巡回パトロールを行った。また、台風災害後に指定文化財の被害状況調査も実施し、被害があった国・県指定文化財については南薩教育事務所、県文化財課へ報告を行うとともに、看板等の修繕を行った。

■指定文化財の保存 (管理修理) 事業

県指定有形文化財「久保観音堂の木造菩薩立像」・市指定文化財「木造聖観音立像二体」の環境整備、市指定有形文化財「上西園のモイドン」の環境整備の２件について、補助金を交付した。

■文化財看板設置

経年劣化していた市指定文化財「入野原石塔群」の説明看板の設置を行い、文化財の適切な存と活用を図った。

（3）新指定の文化財

・国指定史跡「今和泉島津家墓所」（令和２年３月 10 日）
・市指定文化財「調所笑左衛門廣郷銘手水鉢２点」（令和元年５月 27 日）

5　刊行物・研究活動の部

（1）『指宿まるごと博物館Ｘ　海を見つめた古代人～イブスキ人の起源～』展示図録

企画展「指宿まるごと博物館Ｘ　海を見つめた古代人～イブスキ人の起源～」の展示内容を紹介。

（2）『令和元年度市内遺跡確認調査報告書』指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書第 64 集

令和元年度に実施した敷領遺跡の確認調査を行い、遺跡の記録保存を行った。

（3）学会発表・講演会発表・論文発表等

■成尾英仁･中摩浩太郎･渡部徹也･鎌田洋昭･西牟田瑛子･松﨑大嗣「開聞岳の貞観十六年（AD874）噴火災害と当時の人の対応」『第四紀研究』第 58 号
■中摩浩太郎「指宿はなぜ「指宿」なのか － 忘れ去られた「指宿」の起源 － 」退職校長会（2019 年５月 18 日）
■中摩浩太郎「指宿はなぜ「指宿」なのか － 忘れ去られた「指宿」の起源 － 」寿大学講座（2019 年６月 21 日）
■中摩浩太郎「指宿はなぜ「指宿」なのか － 忘れ去られた「指宿」の起源 － 」徳光ひまわり会（2019 年 10 月 25 日）
■中摩浩太郎 「今和泉島津家墓所の調査成果と造営思想について」『令和元年度鹿児島県考古学会秋季大会　発表資料』（口頭発表 2019 年 11 月 30 日）
■松﨑大嗣「紫コラ火山灰の降下年代再考」隼人文化研究会　第 512 回２月例会（口頭発表 2020 年２月 20 日）
■松﨑大嗣「九州南部における甑型土器の導入と変容」『日々の考古学３』東海大学考古学研究室
■松﨑大嗣「古代南九州の貿易陶磁器」『南九州から奄美群島の貿易陶磁発表要旨・資料集』日本貿易陶磁器研究会
■松﨑大嗣「西海道南部の土器生産」『太宰府学論集』九州国立博物館アジア文化交流センター研究論集　第１集　九州国立博物館
■竹中正巳・大西智和・鐘ヶ江賢二・松﨑大嗣・中摩浩太郎・鎌田洋昭・新垣　匠「成川遺跡第４次発掘調査速報」『鹿児島女子短期大学紀要』第 57 号
■新垣　匠「南島爪形文土器の研究」『先史学・考古学論究Ⅷ－木下尚子先生退任記念－』龍田考古会

令和２年度各事業の実施状況

令和２年度に実施した主な事業は、次のとおりである。以下、その概要を記す。

１　博物館事業の部

（１）企画展・体験学習・講座等

①ゴールデンウィークイベント「はしむれこどもフェスティバル」（５月２日～６日　中止）

ゴールデンウィーク限定イベントとして開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令に伴い、中止した。そこで自宅でも当館の体験イベントを取り組めるように、古代体験セット販売を行うことにした。以下セット内容である。

はしむれ限定宅配便「はしむれ古代宅配便」（59 セット）

■古代体験セット（石の勾玉・消しゴム勾玉・オリビン採集）

■三種の勾玉セット（石の勾玉・消しゴム勾玉・レジン勾玉）

②夏のミニ企画展「いぶすきシェルコレ 2020- 大海原を渡るウミガメ -」

（６月 27 日～８月 30 日　来場者：2,140 人）※観覧無料

夏季休業に合わせて、指宿市在住の貝研究者 中島耕作氏（元日本貝類学会会員・元九州海類談話会会員、橋牟礼川遺跡総括報告書貝資料同定指導者）所蔵の、南西諸島や、台湾・フィリピンといった外国で採集された、普段見ることのできない珍しい貝殻標本の数々を展示した。また、本市を産卵場所にしているウミガメについての解説や標本を設置した。

【関連イベント】

■タカラガイとシーグラスでウミガメ作り

③秋のミニ企画展「太陽国体　今昔物語」（９月 19 日～ 11 月 3 日　来場者：1,527 人）※観覧無料

本企画展では 1972（昭和 47）年に鹿児島県で行われた「太陽国体」とその前後の時期に着目した企画展を実施した。

1960 年代に国体が初めて鹿児島県で開催されることをうけ、県は各競技者の育成に力を入れ、その結果、見事男女ともに総合優勝を果たしている。

当時は、高度経済成長期の真っ只中であり、様々なインフラ整備が進み、鹿児島県全体が発展した時期である。そのため、生活はもちろん町の風景も劇的に変化した。指宿市在住の太陽国体出場者・関わった方などにインタビューを行うとともに、当時盛り上がった鹿児島県内・指宿市内の写真を展示した。

本展を通して、昔懐かしい指宿を振り返ってもらうとともに地域の魅力を再発見してもらった。観覧車の中には､「昔懐かしい指宿の風景を思い出してよかった」と当時の記憶を懐かしむ人もいた。

④文化庁主催「記念物 100 年展」（９月 19 日～ 11 月３日　観覧者：3,177 人）※観覧無料

史跡などの記念物を保護する法律「史蹟名勝天然記念物保存法」が施行されて１００年を迎え、これを記念して、時遊館ＣＯＣＣＯはしむれで「記念物１００年展」開催し、文化庁が作成したパネルを展示した。

⑤企画展　指宿まるごと博物館Ⅷ　「海神　開聞岳」

（ 令和２年 12 月 12 日～令和３年３月 14 日　来場者：804 人）※有料　大人 200 円　小人 100 円

東シナ海に突き出す形で位置する開聞岳は、三国名勝図会によると海神「豊玉彦」が鎮座する山であり、開聞岳山麓の開聞地域は龍宮界とされている。実際、古代において開聞岳は開聞神の神体

とされ、元慶６（882）年には、開聞神の神位は正４位下にまで上昇している。

同時に、開聞岳は海外との交通手段が海洋航行であった時代には、航行目標物として大きな役割を果たしてきた。このことは、枚聞神社に奉納されている琉球扁額から知ることができる。

このように、海神開聞岳と古代からの人々とのかかわりを示すことで、人間と海とのかかわりを描く企画展を実施した。

■はしむれ日曜講座

市民を対象に指宿まるごと博物館構想推進の一環として、企画展に関連する講座とフィールドワークを開催した。

	開催日	講座名	内容	講師	聴講者
1	12 月 27 日	海神開聞岳に関わる歴史や神話について	海神開聞岳に関わる歴史や神話について	鎌田　洋昭 （当館学芸員）	31
2	2 月 14 日	フィールドワーク	山川港・津口番所・無頼浜・川尻・天の岩屋皇后来浜・枚聞神社・玉ノ井を見学	鎌田　洋昭 （当館学芸員）	15

⑥常設展関連イベント「ナイトミュージアム 2020 はしむれ古代アドベンチャー　～オリビン姫を救い出す、真の古代勇者になろう～」（12 月 26 日　参加者 12 人）

普段見ることのできない夜の博物館観覧体験を楽しんでいただくために実施した。当館職員が作成した古代文字を解くために、常設展示内に設置したクイズに答えるイベントを行った。対象は小・中学生とし、初対面の児童たちと協力しながら問題を解く姿がみられた。

⑦ミニ企画展「篤姫のひなまつり展」（１月 30 日～３月７日）※観覧無料

市民から寄贈された雛壇飾りや土人形、色打掛等を展示した。

【関連イベント】

■乙女心くすぐるリメ缶バッグ作り２月 27 日・28 日　参加者：33 人）

⑧市民のための「いぶ好き『ふるさと学』」講座（全５回、聴講者数 107 人）

自然・歴史・考古・産業など様々な分野の専門家を招き、講座を開催することで、市民が生涯を通じて学び、その学習効果や能力をまちづくりに生かし、潤いと活力のある郷土の実現を図ること、そして「指宿まるごと博物館」の素材の活用、市民の文化財愛護精神の醸成を図ることを目的とした講座を全５回開催した。

令和２年度は「太平洋戦争」･「中世の指宿」･秋のミニ企画展「太陽国体　今昔物語」、企画展「海神　開聞岳展」に関連するテーマで講座を設けた。

回	開催日	テーマ	講師	聴講者数
1	８月８日	指宿の戦争遺跡	八巻　聡 氏 知覧特攻平和会館	40
2	10 月 10 日	太陽国体と鹿児島の変化	平井　一臣 氏 鹿児島大学	24
3	12 月 19 日	指宿市の汀の環境とウミガメ	西　隆一郎 氏 鹿児島大学	21
4	１月 23 日	祈りの山：開聞岳	福ケ迫　忠 氏 南方神社	中止
5	２月 20 日	戦国時代の山城を知ろう	上田　耕　氏 南九州市教育委員会	22

⑨スター・ウォッチング（全２回、参加者計 74 人）

季節ごとに開催している星空観察会。当館所有及び外部講師の天体望遠鏡を用いて、季節の星座とその動きを観察し、天体に興味・関心を持ってもらうことを目的とした。

回	開催日	テーマ	講師	参加者数
1	10 月 31 日	秋の星座と月を見よう	森永　成一 氏 （鹿児島市立谷山北中学校教諭）	74
2	2 月 13 日	冬の星座と星団を見よう	森永　成一 氏 （鹿児島市立谷山北中学校教諭）	荒天により中止

⑩ジュニアガイド養成講座（中止）

小学５年生～中学２年生を対象に、時遊館 COCCO はしむれのジュニアガイドの養成講座を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止した。

⑪いぶすき文化財探検手帳の配布

夏季休業中に市内の文化財を親子一緒に巡ってもらい、地域の文化財について知っていただくために実施した。当館が配布した文化財手帳の空欄を埋めるために、実際に現地に行ってもらい、説明看板を読んでもらった。空欄を埋め、正解だった場合には賞状を授与した。

⑫月間体験イベント・季節限定イベント

来館者の増加を促進するために、親子で参加できるようなイベントを月毎・季節に実施した。

月	月間体験タイトル	体験人数	定員
4 月	輝く！レジン鉱物標本ドーム	190	120
5 月	ペタペタ！いきもの手形アート	49	80
6 月	イッシー現る！？池田湖のカケラキーホルダー	77	50
7 月	再ブーム！！カラフルアイロンビーズブローチ	64	120
8 月①	ハワイアンシェルブレスレット	99	90
8 月②	食べちゃだめよ♡クッキー風土器ドキブローチ	26	90
9 月	アーティスティック！ガラス管玉風古代ネックレス	76	100
10 月	どんぐり帽子のキラキラレジンネックレス	101	80
11 月	水に浮かべてゆらふわ♡フラワーキャンドル	83	80
12 月	シャカシャカきらきら！ Xmas スノードームカード	67	40
1 月	和モダン書き初め掛け軸	50	50
2 月	ゆめかわ♡スイーツのメッセージカードスタンド	50	50
3 月	水引と金平糖の和スイーツイヤリング	―	50
合計		882	1000

日付	季節限定イベントタイトル	体験人数	定員
8 月 9 日	夏休みイベント ドッカーン！！親子でミニ火山噴火体験	21	20
9 月 26・27 日	夏休みイベント 空を閉じ込めた！？キラフワ雲レジン	31	40
12 月 13 日	クリスマスイベント　ジングルベル♪ Xmas ツリーオーナメント	15	15
2 月 27・28 日	ひな祭りイベント 乙女心くすぐるリメ缶バッグ	33	33
合計		67	90

月間イベント（４月）

シェルコレ関連イベントの様子

はしむれ古代宅配便

季節限定イベントの様子（８月）

いぶすき文化財探検手帳認定証授与

ミニ企画展展示解説の様子

ナイトミュージアムの様子

記念物 100 年展　展示の様子

月間イベントの様子（11 月）

企画展　オープニングセレモニーの様子

ミニ企画展「いぶすきシェルコレ 2020」ポスター

ミニ企画展「太陽国体　今昔物語ポスター」

企画展「海神　開聞岳展」ポスター

ミニ企画展「篤姫のひなまつり」ポスター

（2）学習支援活動

来館者に対する学習支援の他、博物館実習生や職場体験学習の受入れ、市内各小学校の総合的な学習の時間の支援を実施している。

①キャリア・スタート・ウィーク

市内の中学２年生を対象とした職場体験学習の受け入れを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止した。

②令和２年度小・中学校・一般団体博物館利用実績・出前授業実績（●：市内の学校・団体）

	月	日	学校・団体・個人名	人数	体験内容 （記載のない団体は見学のみ）	指宿大好き体験	社会科授業・地層見学	出前授業
1	6	5	丹波小学校６年生●	68			○	
2	6	6	鹿児島市障害者支援施設・吉野学園	9				
3	7	2	池田小学校５・６年生●	15			○	
4	9	16	鹿児島市立花野小学校６年生	53	消しゴム勾玉			
5	9	16	魚見小学校６年生●	17	火山の仕組みと大地の働き			
6	9	30	鹿児島市立宇宿小学校６年生	79	石勾玉			
7	10	7	中種子町立油久・南界小学校	18	消しゴム勾玉			
8	10	8	福岡市立花畑中学校	42	オリビン万華鏡	○		
9	10	14	鹿屋市寿北小学校	141				
10	10	14	中種子町立野間小学校	40	消しゴム勾玉			
11	10	16	池田小学校５・６年生●	14			○	
12	10	21	鹿児島市立伊敷小学校	77	オリビン万華鏡・オリビン採集			
13	10	21	霧島市立霧島小学校	16	あんぎん編み			
14	10	22	姶良市立三船小学校	25				
15	10	23	指宿市立開聞中学校３年生●	22			○	
16	10	24	指宿市立山川中学校●	51	常設見学・火山戦跡について講堂で講話		○	
17	10	29	福岡市立和白丘中学校	20	オリビン万華鏡	○		
18	10	29	伊佐市立本城小学校	18	オリビン万華鏡	○		
19	11	10	薩摩川内市立東郷学園義務教育学校	53	石勾玉			
20	11	11	霧島市立青葉小学校	70	消しゴム勾玉			
21	11	16	有田町立有田中学校	12	オリビン万華鏡	○		
22	11	16	姶良市立重富小学校	17	石勾玉・オリビン万華鏡	○		
23	11	17	薩摩川内市亀山小学校	95	石勾玉			
24	11	18	志布志市立原田小学校	15				
25	11	18	志布志市立野神小学校	28	消しゴム勾玉			
26	11	19	霧島市立陵南小学校	46	オリビン万華鏡			
27	11	20	ハイビスカス福祉会	37	オリビン万華鏡・消しゴム勾玉			
28	11	21	湊上子ども会	17	キーホルダー			○
29	11	25	南大隅町立神山小学校６年生	44				
30	11	29	あすなろ福祉会わかば	28	オリビン万華鏡			○
31	12	2	広島市立みどり町中学校	38	オリビン万華鏡	○		
32	12	2	鹿屋市立下名小学校	19	消しゴム勾玉			
33	12	4	牧之原養護学校中等部３年生	26				
34	12	4	指宿市立利永小学校●	7			○	

35	12	7	熊本市立下益城城南中学校	86	石勾玉・オリビン万華鏡	○		
36	12	9	姶良市立西姶良小学校６年生	23	オリビン万華鏡			
37	12	9	福岡市立箱崎清松中学校	11	石勾玉・オリビン万華鏡	○		
38	12	9	南種子町７校合同修学旅行	63				
39	12	10	鹿屋市鶴峰小学校	11				
40	12	10	科学総連	12				
41	12	12	鹿児島国際大学	20				
42	12	15	福岡市立三築中学校	39	石勾玉・オリビン万華鏡	○		
43	12	15	徳光いちいちサロン	32	※オリビン万華鏡			○
44	12	17	鹿児島市立天保山中学校	19	オリビン万華鏡	○		
45	1	18	鹿児島市立吉野中学校	65	石勾玉・オリビン万華鏡	○		
合計				1658	件数合計	11	6	3

２　後援・共催・協賛事業及び施設利用の部

（１）指宿まるごと博物館実行委員会への活動支援

平成 29 年度から令和２年度の３か年継続事業（平成 30 年度は中止）として、文化庁の「地域文化財総合活用推進事業」を活用し、令和２年度は市内の指定文化財等をまとめた冊子「指宿文化遺産図鑑　指定文化財編」を出版した。

（２）時遊館 COCCO はしむれ友の会支援活動

時遊館 COCCO はしむれ友の会は、指宿市考古博物館　時遊館 COCCO はしむれを中心としたさまざまな学習活動、ボランティア活動を通じ、指宿市の歴史と文化を学び、会員の自己研鑽を行うこと、同時に地域における歴史・文化学習のネットワークを形成し、会員相互の交流を深めることを目的とする会であり、会員数は現在約 90 人である。令和２年度は下記の活動支援を行った。

■はしむれ友の会秋の遠足「疫病退散祈願の旅」（霧島市：10 月 31 日）

（３）市民講座「まちの宝を知ってみよう」

市の生涯学習事業である市民講座への講師協力。５月～２月に開催、全９回

回	期日	分野	講師	テーマ
第１回	７月 21 日	歴史	鎌田　洋昭	指宿市内の国登録有形文化財と建造物
第２回	９月 15 日	文化	松崎　大嗣	山川・利永に伝わる来訪神伝説
第３回	９月 20 日	歴史	中摩　浩太郎	指宿の戦跡～戦後 75 年～
第４回	10 月 20 日	文化	中摩　浩太郎	知ってびっくり！指宿の地名の歴史
第５回	11 月 24 日	産業・経済	新垣　匠	こんなに変わった！指宿の産業・経済について
第６回	12 月 15 日	産業・経済	松崎　大嗣	あの素晴らしい愛をもう一度？指宿新婚旅行慕情
第７回	１月 19 日	歴史	鎌田　洋昭	遊動生活をした旧石器人たち
第８回	１月 30 日	全体	鎌田　洋昭	フィールドワーク
第９回	２月 16 日	歴史	新垣　匠	琉球貿易と山川

（４）展示会の開催

①第 31 回いぶすきシルバー美術展（８月３日～８月 15 日　入場者 961 人）

県内の 60 歳以上の方々なら誰でも応募資格をもつ、ユニークな絵画の公募展。令和２年度は 154 点の作品が集まり、最高齢出展者は 95 歳であった。指宿市・指宿市教育委員会・指宿市文化協会による開催。

②学校教育課主催「社会科作品展」（9月12日～9月26日）

市教育委員会学校教育課主催の、市内の児童・生徒が夏季休業期間に作成した自由研究や図画作品の受賞作を展示する展示会。

（5）いぶすき検定の実施協力

指宿商工会議所が行っている小学校５・６年生と中学校１・２年生を対象とした「いぶすきジュニア検定」と、いぶすき検定の初級・中級・上級の問題作成を行った。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大のため、「いぶすき検定」が中止となった。

（6）NPO法人指宿観光＆体験の会への協力

指宿観光＆体験の会では、世界でもめずらしい天然砂むしの体験をはじめ、いぶすき広域ならではの自然資源・人的資源を最大限に活かした農林業体験や漁業体験、自然体験、味覚体験などの魅力的なプログラムの提供については、令和２年度に設立したNPO法人指宿観光＆体験の会に移行した。本館では、修学旅行シーズンにおいて、「オリビン万華鏡体験」のプログラムを行うなどの協力を行った。令和２年度は11校の利用があった。

3　発掘調査・整理作業の部

（1）市内遺跡確認調査

開発対応に伴う遺跡の確認調査を、下記のとおり実施した。

遺跡名	所在地	調査期間	面積	調査原因	主な遺構	主な遺物	備考
敷領遺跡	十町	2月20日・2月25日	8㎡	個人住宅の建設	水田跡？	―	
		7月25日～7月31日	4㎡	個人住宅の建設	―	成川式土器	
成川遺跡	山川成川	8月24日	32㎡	道路の拡幅	―	―	
上玉利Ⅱ遺跡	十町	11月9日～13日	12㎡	道路の拡幅	―	成川式土器	
南迫田遺跡	十二町	1月6日	6㎡	道路の拡幅	―	―	

（2）橋牟礼川遺跡報告書作成

橋牟礼川遺跡西部土地区画整理事業に伴う昭和61年～63年に実施したⅣ区の整理作業を実施し、報告書を刊行した。

4　文化財保護管理の部

（1）文化財防火デー

①県指定天然記念物・県指定史跡山川薬園跡及びリュウガン：令和３年１月31日　中止

②枚聞神社：令和３年１月26日　中止

地域住民、自衛消防隊、消防団や消防署等関係機関の参加のもと、地域文化財についての理解を深めるとともに、実際に文化財が被災した場合どのような対応をとればよいのかを考えるワークショップを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止した。

（２）指定文化財等の保護

■文化財パトロール

市内指定文化財や周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の巡回パトロールを行った。

■指定文化財の保存 (管理修理) 事業

市指定有形文化財「木造千手観音坐像」の環境整備１件について、補助金を交付した。

■文化財看板設置

経年劣化していた文化財説明看板【長勝院址石造物（快伝銘五輪塔・石造如来形坐像）・湊川橋・鹿児島県のソテツ自生地】、文化財標柱【国指定史跡橋牟礼川遺跡・板碑「湯豊宿」・旧正龍寺跡墓石群・菅山の方柱板碑・桜井神社木造銘文】、文化財矢印看板【上仙田東屋敷供養塔群・旧正龍寺跡墓石群・河野覚兵衛家墓石群】の設置を行った。

（３）新指定の文化財

・県天然記念物「知林ヶ島のトンボロ」（令和２年４月 28 日）

・市指定文化財「弘化四年揖宿神社造替関係資料３点」（令和２年５月 25 日）

５　刊行物・研究活動の部

（１）『指宿まるごと博物館XI　海神　開聞岳展』展示図録

令和２年度企画展「海神　開聞岳展」の展示内容を紹介した。

（２）『橋牟礼川遺跡（Ⅳ区）』指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書第 65 集

指宿駅西部土地区画整理事業に伴う発掘調査で出土した資料の再整理を行った。

（３）『令和２年度市内遺跡確認調査報告書』指宿市埋蔵文化財発掘調査報告書第 66 集

令和２年度に実施した敷領遺跡等の確認調査に伴い、遺跡の記録保存を行った。

（４）学会発表・講演会発表・論文発表等

■中摩浩太郎「今和泉島津家墓所について－墓所調査からみた今和泉島津家墓所造営思想」『鹿児島考古』第 50 号

■中摩浩太郎「令和２年に実施した戦跡（空襲遺構）調査について」『令和元・２年度博物館年報・紀要』第 14 号 指宿市考古博物館

■畠山唯達・北原優・望月伸竜・下岡順直・鐘ヶ江賢二・松﨑大嗣″Magnetic surrey for buried old kilns with paleomagnetic interpretation″ JpGU-AGU Joint Meeting 2020

■鐘ヶ江賢二・三坂一徳・松﨑大嗣・久住猛雄・松島隆介「南九州における湯取り炊飯から米蒸しへの転換過程」『日本考古学協会 第 86 回総会研究発表要旨集』

■松﨑大嗣「古代日本の火山災害考古学研究－開聞岳貞観噴火の災害年代の解明－」『令和元年度高梨学術奨励基金年報』

■松﨑大嗣「成川式土器の分類と編年」『地域政策科学研究』第 18 号　鹿児島大学大学院人文社会科学研究科

■松﨑大嗣「鹿児島県」『日本考古学協会年報 72』日本考古学協会

■新垣匠「田良岬で採集された太平洋戦争期の航空機片について」『令和元・２年度博物館年報・紀要』第 14 号 指宿市考古博物館

令和２年に実施した戦跡（空襲遺構）調査について

中摩　浩太郎（指宿市教育委員会）

１　はじめに

令和２年は、太平洋戦争終戦から 75 年にあたり、時遊館ＣＯＣＣＯはしむれでは、８月８日の「市民のためのいぶ好き『ふるさと学』講座」において、知覧特攻平和会館の八巻聡氏を招き、『指宿の戦争遺跡』と題した講演を頂いた。八巻氏の講演の中で、本館が把握していた以外の戦跡についての情報を得るとともに、さらに多くの未知の戦跡が本市に残されている可能性と、戦跡に関する資料がまだ多数あることを認識した。

これまで、指宿市で実施した本格的な戦跡調査は、平成13年度における指宿市特殊地下壕（防空壕）調査のみである。ただ、その後において時遊館ＣＯＣＣＯはしむれでは、市民から寄せられた情報を基に現地での確認や、写真等の収集に努めていた。それらは断片的情報ではあったが、平成25年度には「指宿まるごと博物館事業」として戦跡アーカイブ化事業を実施。『指宿の戦跡を訪ねて』と題したＤＶＤとパンフレットを制作し、従来知られていた海軍山川方探所や指宿海軍航空基地、尾掛地区の震洋基地等の情報を紹介するとともに、航空基地建設に伴う田良地区の住居移転や福元大火、山川小学校での空襲等に関する証言を収録している[(1)]。

本稿では、令和２年に著者が行った、昭和 20 年における現指宿市内の大規模な空襲遺構についての調査内容について紹介する。

２　指宿市内における大規模な空襲

太平洋戦争中、指宿市内全域が空襲にさらされた。『指宿市誌』、『山川町史』、『開聞町郷土誌』には、その大半が対人の機銃掃射であったが、施設・家屋等や人命に甚大な被害を及ぼした焼夷弾や爆弾による空襲も記録されている（**図１**）。

東方田良岬の指宿海軍航空基地は、昭和 20 年３月 18 日～ 20 日、４月 15 日、５月５日、５月７日に爆弾・焼夷弾が投下されるなどして、兵舎等施設が全焼した。現地に設置された慰霊碑には戦没者・殉職者として 192 名の名が記されている。特攻出撃者が 82 人と記されているため、空襲等に伴う殉死者数は 100 名を超えることは明らかであろうが、詳細な内容は指宿市誌には記されていない。

山川福元は、昭和 20 年８月９日・11 日に焼夷弾による攻撃を受け、山川町役場、山川病院、山川映画館、国鉄自動車車庫の公共建物を含む 570 戸が焼失した。罹災人口は 2600 人、16 名の命が失われている[(2)]。この時の火災は「福元大火」と呼ばれている。

開聞川尻は、昭和 20 年７月３日、８月９日・11 日に攻撃を受けた。特に８月 11 日には午後１時頃、開聞岳方面から４機編成の３編隊が川尻上空に侵入、西集落付近に焼夷弾数十発が投下され、強い西風にあおられたことで火災が広がり、川尻地区の 492 戸が焼失している[(3)]。

今回は、上記３つの空襲について、遺構の有無調査を実施した。

３　空襲遺構の有無調査

（１）山川福元区

住宅密集地である山川福元では、焼夷弾による攻撃で大がかりな火災が発生した。大型爆弾の使用については記録にない。

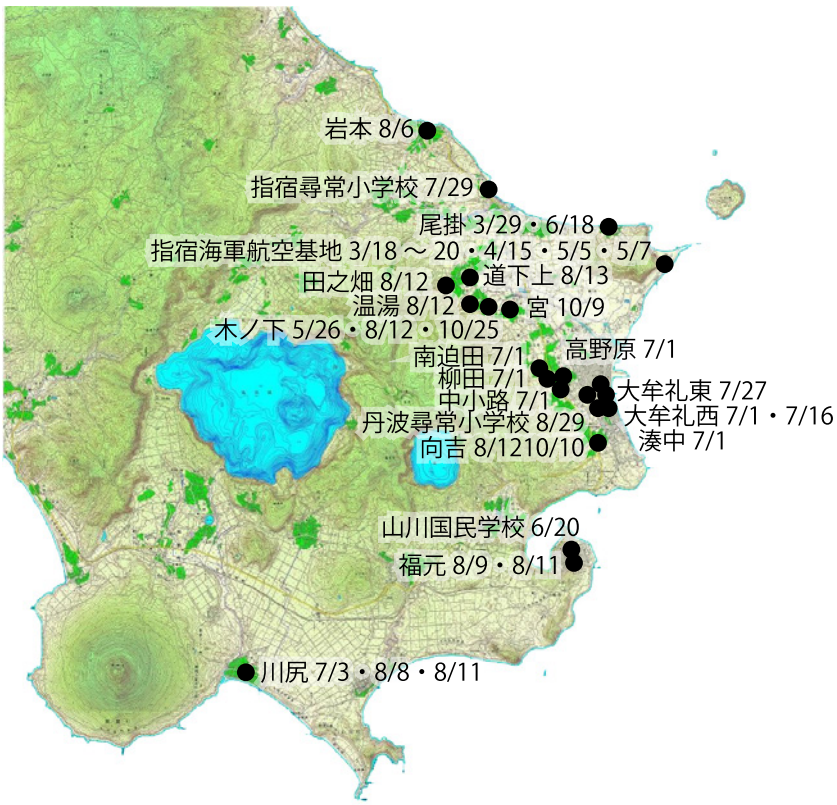

図１　指宿市内における昭和 20 年の主な空襲（市誌等を参考に作成）

山川福元には、現在も多くの場所で山川石製の石塀が存在するが、この石塀は藩政期に整備され、戦前には現地にあったことが知られている。このため、石塀に火災痕跡が残されている可能性を考慮し、その有無調査を行うことにした。石塀の素材である山川石は、黄色を帯びた明るい色の福元火砕岩類であり、火災による煤などの付着や加熱による変色などは明瞭に判別できると考えたからである。

まず、太平洋戦争中のことを知る福元区長今村善哉氏(84)に聞き取りを行った。今村氏の教示では、山川石石塀は福元大火の高熱によりオレンジ色に変色したとのことである。また、石塀の変色は当時の特徴的な家屋構造をより反映しているという。石塀は、屋地の境界であるばかりでなく、家屋の壁の一部であった。特に、家屋内に家畜小屋が含まれる造りのものでは、石塀が牛などの家畜の飼い葉を積み上げるのに都合がよいため、小屋の壁として使われたという。このような構造の家屋が火災になった場合は、特に石塀が被熱し変色が進んでいるという。具体的な変色石塀は**写真１**であり、石塀の石材が赤っぽいオレンジ色や茶色っぽいオレンジ色に変色している。

この例を基に、福元区と町区に分布する変色石塀の位置を示したのが、**図２**中に赤色で図示した部分である。旧山川町では、福元大火による戦災復興のため、国の認可を受け昭和 21 年から 28 年の期間に戦災復興事業を実施した。**図２**のグレーの着色部分は戦災復興事業報告書[(4)]に所収された「山川町市街地罹災状況図」の罹災区域であり、破線は復興事業計画範囲である。変色石塀と罹災区域を比較すると、変色石塀の位置と戦災の範囲はおおむね重なっていることから、福元大火の範囲はこの範囲であるとみなせる。

なお、戦災復興事業によって、旧山川町は道路拡幅や港から役所前に続く道路の新設等の土地区画整備を実施している。このため、現地にある変色石塀は原位置を保っていない可能性も残されている。山川町市街地罹災状況図と現在の街区図を重ね比較したところ、土地区画整理に伴う新設道路などを除く大部分の街区は現在でも戦前のままであることが確認できた。なお、**図２**に示した変色石塀のうち、罹災区域の範囲外に位置するものについては、道路設置等に伴って移設されたものと考えられる。

以上のように、今回調査対象としたオレンジ色に変色した山川石石塀は、福元大火の痕跡を残す戦跡であることを確認できた。

写真１　オレンジ色に変色した山川石石塀

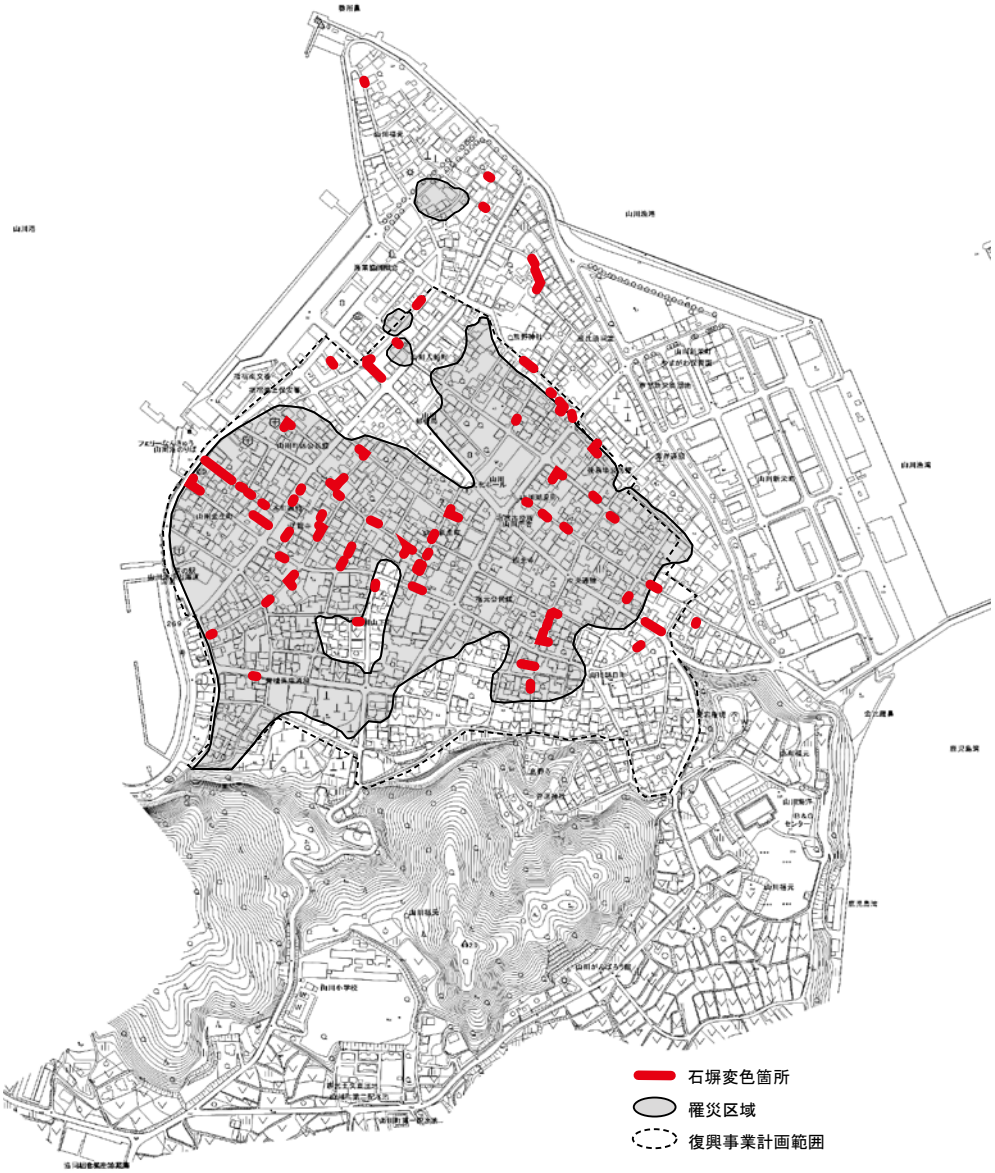

図２　山川福元における山川石石塀変色箇所２

（２）指宿海軍航空基地跡

指宿海軍航空基地における昭和 20 年５月５日の空襲については、「飛行場の上空に巨大なドーナッツ型の大黒煙が舞い上がり、地上は砂塵で覆われ、火災が発生して兵舎等の施設は全焼した」という目撃証言が残っている(5)。このことから、投下された爆弾はかなり大型のものであったことが推定される。

爆弾の破裂によって形成されたクレータは、「爆弾坑」や「爆弾池」、「爆弾穴」などと呼称されている。大分県宇佐市指定史跡である「宇佐海軍航空隊関係爆弾池」は、現在も地表にクレータが１基残存している。平成 28 年度の発掘調査によって、この爆弾池は南北 10.7 m、東西 9.6 m、深さ 1.2 mのクレータであることが確認された(6)。

同様に発掘調査によって「爆弾坑」の規模が把握された事例としては、鹿児島県霧島市の菩提遺跡の爆弾坑７基（最大直径 6.41 m、最小 5.2 m、平均 5.572 m、深さ最大 1.36 m、最小 1.09 m、平均 1.185 m）(7) や、兵庫県芦屋市の津知遺跡の爆弾坑（径約 12 m、深さ約 1.5 m）(8) がある。宇佐市の「爆弾池」を調査した弘中正芳氏は、爆弾坑の直径と爆弾の火薬の重量との相関関係を推定している(9)。実際、菩提遺跡では土坑内部から爆弾片が出土し、投下されたのが 260 ポンド爆弾であったことが確認されている。津知遺跡は、昭和 20 年５月 11 日の空襲で投下された、250 キログラム爆弾（500 ポンド爆弾相当）によるものとされており、爆弾の火薬重量と爆弾坑の直径とは比例関係にあるようである。

指宿海軍航空基地の事例であるが、昭和 22 年７月に米軍が撮影した航空写真には、基地の主要施設やエプロン等が配置された部分に、爆弾坑とみられるクレータが少なくとも 13 箇所映りこんでいる（**写真２**の▽）。爆弾坑はそのサイズから、大型のものと小型のものに分けられる。爆弾坑のおよ

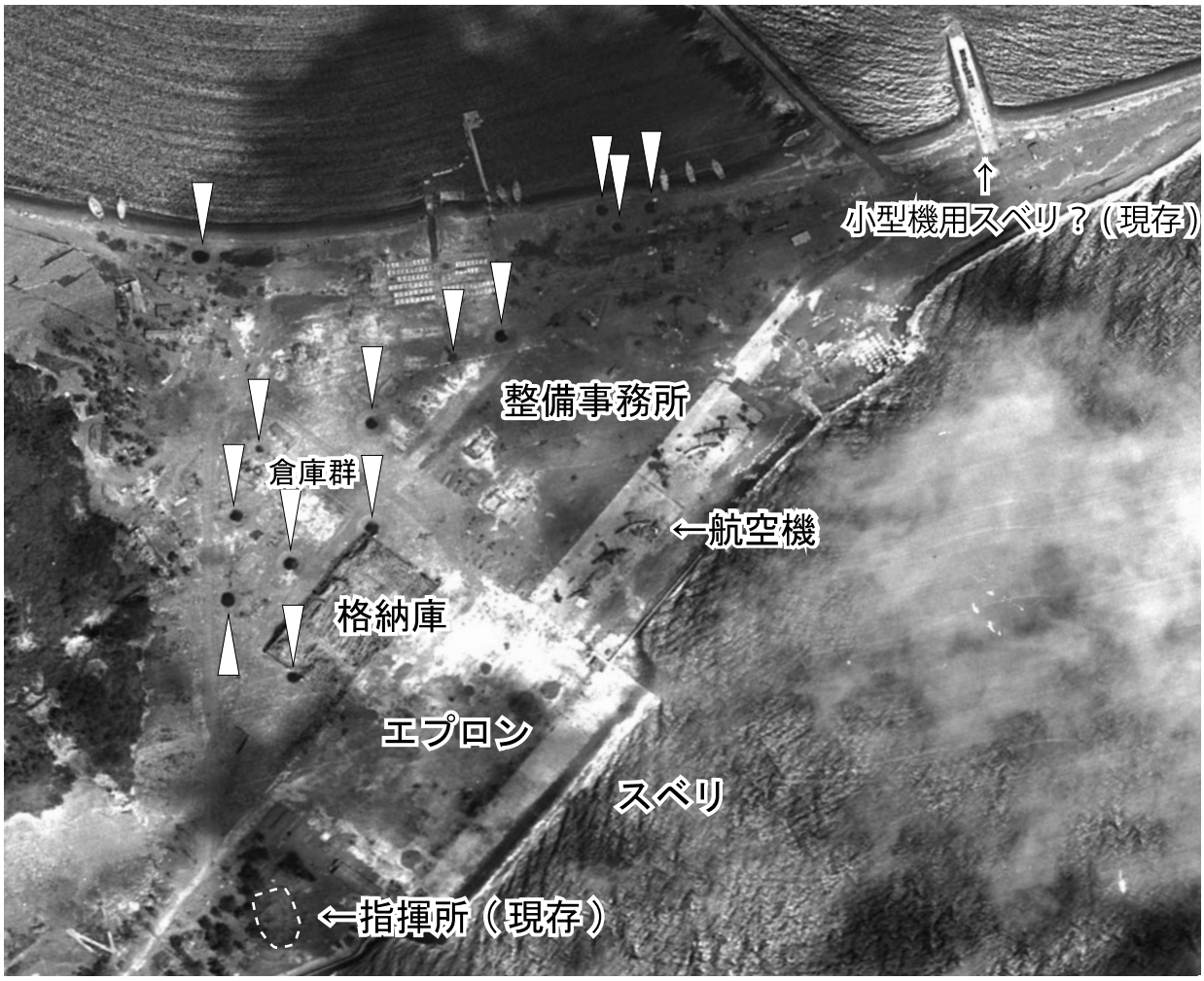

写真２　航空基地爆弾坑位置（写真：工藤洋三氏提供）

写真３　指宿海軍航空基地跡に残る倉庫群の基礎と考えらえるコンクリート構造物

そのサイズを把握するために、航空写真から推計を試みた。指揮所は慰霊碑が上部に置かれ現存しており、南北長が 40 mであることがわかっている。これを基に算出すると、大型の爆弾坑は直径約 18 m程度、小型のものは直径約 11 m程度と推定された。参考までに、前出の発掘調査事例と比較すると、小型のものは津知遺跡例に近いが、大型のものは誤差を考慮してもかなり規模が大きく、事例には該当しない。不発弾処理を行っている日本物理探鑛株式会社によると、太平洋戦争中に米軍によって投下された通常爆弾は、50㎏、100㎏、250㎏、500㎏、１ｔの５種類とされるが(10)、約 18 m程度の大型爆弾坑は、1000 ポンド（500㎏）クラスの爆弾に対応する可能性も考えられる(11)。

次は、現地における爆弾坑の残存状況についてである。昭和 40 年 4 月、現地には国民休暇村が設置された。基地跡一帯は整備され、現在では、休暇村指宿の園地とエコキャンプ場となっており、外見が残されている戦跡はほぼ指揮所跡のみとなっている。ただ、現在でも航空基地の痕跡は現地に残されている。例えば、駐車場とテニスコートはエプロンの位置とほぼ一致しており、その北側の芝生広場の境界線は格納庫の形状とほぼ一致している。北側の海岸にあった小型機のスベリとみられるコンクリート構造物は流されてはいるが、まだ現地付近に残されている。さらに、倉庫群の位置には現在でも大戦中の特徴である礫の多いコンクリートの基礎の一部が残っていた（**写真３**）。以上のことから、現地に爆弾坑のなんらかの痕跡が残存する可能性があると考えられたため、現地の地形観察による調査を行うこととした。

調査の方法は、米軍航空写真から爆弾坑の位置を特定し（**図３**）、現地の地表面の微地形を観察するものとした。調査の対象は、アスファルト舗装された駐車場や建物が設置された場所等以外の、草地や林地、砂浜の背後の雑草地に位置すると考えられる爆弾坑とした。

調査の結果、平面円形を呈するクレータ状の地形は確認できなかったが、以下のような知見を得た。

- 爆弾坑の所在箇所のうち、大型のものが複数（５基）集中した箇所については、現在でも地表面が全体的に低く、かつ緩やかな大小の凹凸地形が帯状に並んでいる（図３に破線で凹状の窪地の略形状を図示している）。
- 特に、格納庫跡の西側から北側の「Ｌ字」状の範囲にこのような地形が見られる（**写真４**は北側部分の凹地形）。
- 格納庫跡付近と上記低地部分では 50㎝程度の高低差があるが、既述の倉庫群基礎のコンクリート構造物が所在する箇所については高低差がない。

上記の状況が形成された経緯については、休暇村の園地整備において、爆弾坑を埋め戻すために、格納庫跡の外辺に沿って、西側では南北方向に、その北側では東西方向に周辺の土砂を移動させたことで、緩やかな窪地が帯状に並んだことが考えられる。したがって、現地には爆弾坑自体は残っていないものの、埋め立て後においてもその痕跡を現在にとどめたものと考えられる。

（３）開聞川尻

開聞川尻は、山川福元同様に空襲時点において住宅密集地であった。空襲遺構の有無に関して、地

図３　現在の地図に当てはめた爆弾抗の位置

写真４　格納庫北側の窪地地形

元川尻区長の濵上隆一氏（79）に聞き取りを行ったが、そのような遺構については管見に触れないとのことであった。川尻は、山川福元のような石塀が設置されていないことから、火災痕跡を求めることは困難であった。

４　まとめ

本市における戦跡について、戦後 75 年の機会を捉えて行った調査によって、若干ではあるが新たな情報を得ることができた。指宿市は本土最南端に位置し、昭和 20 年において、本土決戦に備えた施設整備が行われた [(12)]。結果的に実戦で使用されずに済んだ戦跡が多数残っているのである。国内において戦跡が文化財として保護の対象とされたのは、戦後 50 年を過ぎた時点であるが、それゆえに戦跡自体の滅失の危機は年々進行しつつある。

今回確認できた福元大火に関する戦跡などは、生活に隣接して残っている文化財であるという事実

を広く普及することで、「負の遺産」というイメージからあまり踏み込まれない傾向にある戦跡への関心を高めていく必要性を強く感じている。

（付記）

指宿市内の新たな戦跡の調査過程で、元文化財保護審議会会長の岩﨑裕氏から得た情報を紹介する。

今和泉小学校東側の海岸に面した場所には、今和泉島津家本領本宅が置かれた藩政期において松林が整備されており、現在は「隼人松原」と呼称されている。岩﨑氏は太平洋戦争中に動員され、この松林で松脂採集を行っていた。その痕跡は現在でも松の幹に残されている（**写真５**）。

松脂採集は戦前から国内で行われていたが、戦局の悪化に伴う石油輸入の大幅減少の影響を受けて、代替燃料の原料として新たに注目された。昭和 20 年３月に「松根油等拡充増産対策措置要綱」が閣議決定され、日本全土において住民総動員で原料採取が行われた。採集された松脂は精製され、水素などを添加し第二次精製を行うと、高オクタン価の航空機燃料用ガソリンができたのである [13]。

松脂採集痕跡は、九州内では西南学院大学構内の事例が知られている [14]。隼人松原のものは、松の表皮を高さ 20㎝程度、幅 21㎝程度の範囲でハート形にはぎ取り、木地の中央に縦方向の線刻を入れ、縦方向の線刻を中心に、その左右に斜め上方向の線刻を入れるものである。全く同じ方法で松脂を採集した痕跡は、上記の西南学院大学を含め、千葉県市川市など全国各地にあり、当時統一規格に沿った松脂採集が行われていたことを物語るものと考えられる。

註

1　指宿まるごと博物館構想推進実行委員　2014 『指宿の戦跡を訪ねて～今伝える事～』

2　山川町　2000 『山川町史　増補版』Ｐ 792

3　開聞町　1994 『開聞町郷土誌改訂版』Ｐ 348

4　建設省編　1957 『戦災復興事業報告書』第四巻　財団法人都市計画協会

5　指宿市　1985 『指宿市誌』Ｐ 834

6　宇佐市教育委員会　2017 『爆弾池』

7　隼人町教育委員会　1998 『菩提遺跡』

8　芦屋市・芦屋市教育委員　2006 『いまこそ語り継ぐ私の戦争体験記～芦屋市民の記録～』

10　日本物理探鑛株式会社ＨＰ

11　註 10 の日本物理探鑛株式会社ＨＰには 500kg（1000 ポンド）クラスの不発弾処理報告が掲載されている。酒田市沖においては同様の不発弾が発見されており、実践に使用されていたことは確認できる。

12　本土決戦に備えた施設整備は「決号作戦」によるものである。

13　松根脂の生産には、「松根」を原料とするものと、「松脂」を原料するものがあり、本例は松脂の採集痕である（渋谷さゆり 2019「松の資源 - 松根油製造の軌跡をたどる - 」『千葉県立現代産業科学館研究報告 25 号千葉県立現代産業科学館

14　伊藤慎二　2018 「西南学院大学構内の戦争遺跡－戦時下の松脂採取痕跡を中心に―」『西南学院大学国際文化論集』第 32 巻第 32 号

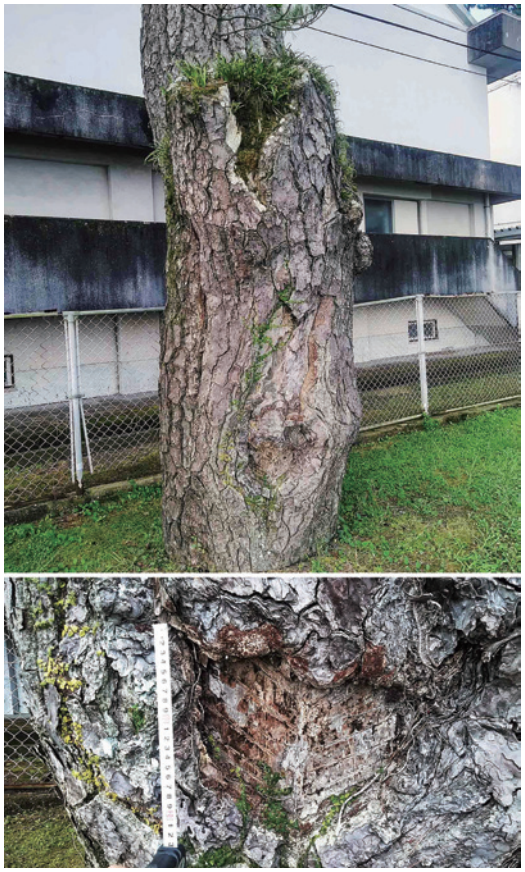

写真５　隼人松原の松脂採集跡

田良岬で採集された太平洋戦争期の航空機片について

新垣　匠（指宿市教育委員会）

1　はじめに

令和２年 10 月に本市在住の西留喜久男氏が指宿市の田良岬にて、海岸清掃を行っていたところ、航空機の残片が打ち上げられていたのを発見し、太平洋戦争期の残骸ではないだいろうかということで、時遊館 COCCO はしむれにご持参してくださった。太平洋戦争期の鹿児島について詳しい知覧特攻平和会館学芸員の八巻聡氏のご協力のもと、太平洋戦争期の零戦の修復に携わったことのある陸上自衛官の中村泰三氏に鑑定していただいた。その結果、太平洋戦争期中に活躍した「二式飛行艇（二式大艇）」の可能性があるとの指摘があった。以下、採集された航空機片についての概要を記す。

2　採集された航空機片の概要

残存部位の外径は 130㎝、幅は 11㎝である。海底に沈んでいたため、貝類の付着が激しい。内部にはゴム製の部品も使用されている。各部品を繋ぎ合わせるために釘（ビス）も等間隔で打ち込まれている。また、窓枠と思われる箇所には厚さ２㎜のアクリルが数か所残っている。

3　検討結果

筆者立会の元で、残存部位の計測と色合いも含めた観察を行い、該当する航空機を文献や写真を用いて検討した。

検討の結果、太平洋戦争期の 1941（昭和 16）～ 1945（昭和 20）年に活動した「二式飛行艇」の艇首部付近であり、窓枠に残っているアクリルは、艇首の窓として使用されていた可能性が指摘された。

図１　航空機片採集地及び指宿海軍航空基地跡位置図

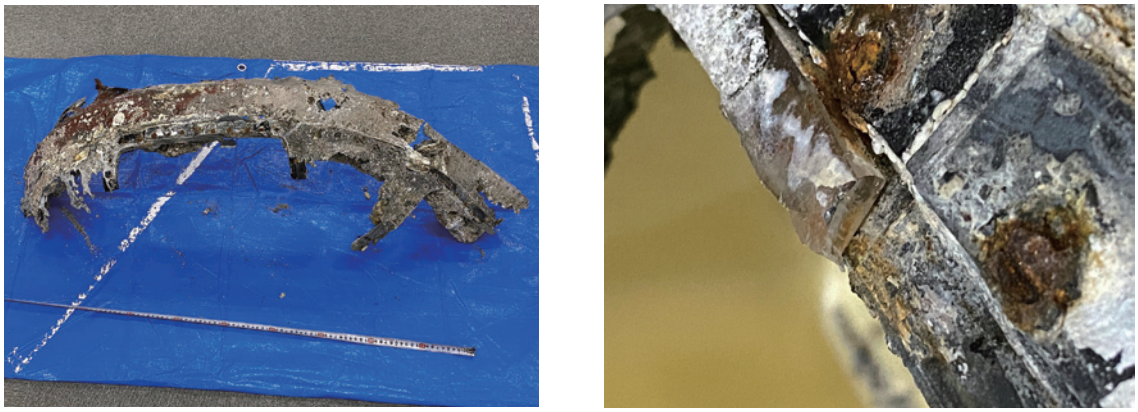

写真１　二式飛行艇と推測される残片（左：全景　右：窓枠に利用されたアクリル）

写真２　二式飛行艇写真　左：艇首内部　右：艇首外観（中村泰三氏提供）

写真３　指宿沖に駐機する飛行艇

４．まとめ

田良岬付近にある戦跡としては、指宿海軍航空基地がある。詳細については前項を参照していただきたいが、当時の海軍航空基地関連の写真の中には、飛行艇と思われる航空機が写っている。

二式飛行艇は生産数が 167 機と非常に少なく、駐機していた場所も限られるため、文献資料などをあたれば、搭乗員・飛行場所を特定できる可能性があるとのことである。

現存する二式飛行艇は鹿屋航空基地史料館に展示されている機体 1 機のみであるため、現存する機体との比較を行い、二式飛行艇と同定できるよう調査を継続していきたい。

【参考文献】

文林堂　2018 『二式飛行艇』 世界の傑作機 No184